

トヨタ自動車特集

新興国を攻略

トヨタ自動車が目指す持続的成長のカギの一つが新興国だ。新興国は、一時的な経済減速や政情不安があるが将来、拡大する市場であることは間違いない。トヨタは東南アジアなど高いシェアをもつ地域がある一方、必ずしも先行しているとは言えない国や地域もある。トヨタは現地化をより深めた「もっといクル」によって、新興国で攻勢をかける。

中国でHV現地化

「いずれは年間販売200万台規模の事業へと成長を遂げることが、私の描く中国事業の将来像」。中国を含む新興国を担当する第2トヨタを率いる伊原保副社長は4月に開かれた「北京モーターショー」会場で、中国は年間新車販売台数2000万台を超え、世界最大市場となった。ただ世界一の自動車メーカー



中国で年間販売200万台を目指す



中国に投入する小型車「レイン」

トリー・ファミリー・カー（EFC）の「ヴィオス」を投入。14年には中国向けの新型小型セダン「カローラ・レイン」を発売し、も一つ一つの課題がエコカー。背景には中国の燃

費規制がある。中国では自動車メーカーに対するCAFÉ（企業平均燃費）規制が段階的に強化される。20年には100\*リッター当たりガソリン5.0リッターという厳しい値が課せられる。CAFÉ規制は車両1台当たりの数値ではなく、各社が現地で販売する車全体の平均値に対する規制。そのため燃費のよい車の販売比率の拡大が不可欠となる。



HVを開発するTMECは「中国でのHVの流れを一気に変えたい」（大西専務役員）と意気込む。さらに「プリウス」が日本と同レベルのレベルの評價設備が並び、制御適合試験や耐久性評価などを、HV開発の海外現地化はまさに「トヨタにとつて世界初の大きな挑戦」（伊原副社長）。16年から現地で組み立てを始める計画だ。

「現地化だ。その核となる拠点は江蘇省常熟市に建設した開発拠点「トヨタ自動車研究開発センター中国（TMEC）」だ。TMECはトヨタが海外で初めて、虎の子とも言える電池やトランスアクスル、インバーターといった主要ユニットからHVを開発する拠点だ。TMECはトヨタが海外で初めて、虎の子とも言える電池やトランスアクスル、インバーターといった主要ユニットからHVを開発する拠点だ。TMECはトヨタが海外で初めて、虎の子とも言える電池やトランスアクスル、インバーターといった主要ユニットからHVを開発する拠点だ。

ダイハツと連携

低価格小型車を強化

中国以外の新興国でも着々と事業強化を進めている。グループのダイハツ工業との連携は、その一つ。トヨタは新興国向け戦略車「IMV」シリーズなど商用車分野に強みを持つが、需要が急拡大する低価格小型車の商品力強化に向けてダイハツとの連携を強化する。トヨタ自身が開発・生産する新興国向け戦略小型車シリーズ「EFC」も販売する。インドネシアで生産する小型セダン「ヴィオス」の中近東9



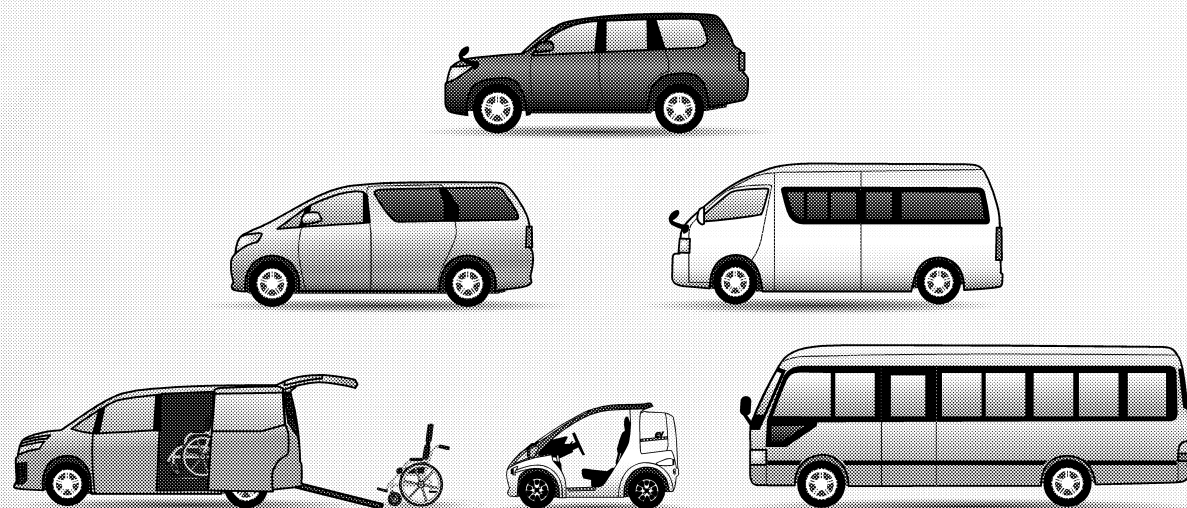
誕生 New Cada SINCE シンセ・カード

トヨタホームのスマート省エネ・創エネ & ウェルネス健康・快適住宅。スマートエネルギーをじょうずに貯めて、かしこく使う。ウェルネス空気環境から、健康・快適・安心な暮らし。トヨタホーム 最新

ミニバン、商用車、SUVの完成車両メーカーをめざして。

トヨタ車体はミニバン、商用車、SUVの企画・開発から生産までを手がけ、時代をリードし、クルマのある豊かな生活の実現に努めています。

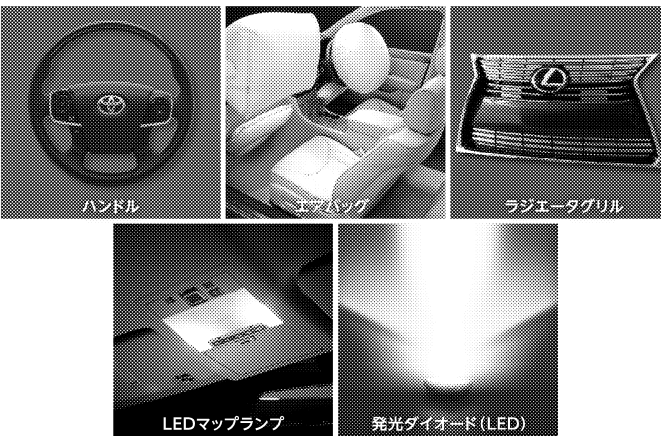
これまでも、これからも、地球環境への対応はもちろん、豊かなクルマの未来、人の未来へ私たちは挑戦を続けています。



トヨタ車体 TOYOTA AUTO BODY

トヨタ車体株式会社 〒448-8666 愛知県刈谷市一里山町金山100番地 www.toyota-body.co.jp

TOYODA GOSEI ~自動車部品とLEDで、人と地球の未来に貢献~



豊田合成株式会社

ー海外18カ国/地域に64のグループ会社で事業展開ー

- 内外装部品（インパネモジュール、ラジエタグリル 他）
- オートモーティブシーリング製品（ウェザーストリップ、ガラスシール 他）
- 機能部品（燃料タンクモジュール構成部品、ホース類 他）
- セーフティシステム製品（ハンドル、各種エアバッグ 他）
- オートエレクトロニクス製品（青色・白色LEDランプ・チップ 他）
- 特機製品（通信機器部品、住宅設備製品、産業車輛部品 他）

本社 / 〒452-8564 愛知県清須市春日長畑1番地 Tel:052-400-1055 Fax:052-409-7491 http://www.toyoda-gosei.co.jp/

熱く、強く、まっすぐに。

愛知製鋼株式会社

〒476-8666 愛知県東海市荒尾町ワノ割1番地 ホームページアドレス http://www.aichi-steel.co.jp/